

〈資料②〉 行動記録表の活用

番号	行動のレベル				子どもの行動 E:対象児	かかわり (指導者、母親) T:担当者「ゲームの対戦相手」 P:母 親「ゲームの審判」	コメント
	I 学習	II 安定	III 思案	緩衝			
1			○		得点板の前でTの説明を聞く。		
2		○	○		「ぼくと先生」と言って、ピョンピョン跳び上がる。(対戦相手は表に示してある)	T:「今度は誰と誰がやりますか?」とEに聞く。	この対戦をする前に、EにはTとPの対戦の審判をさせている。審判をすることで、ゲームの概略を理解できるのではないかと考えた。
3				○	ハンカチを手に持ち(この時間ずっと手から離していない)席に着き、「勝負だな」とTに向かって言う。	T:「お母さん審判ですね。そうすると次は……」とEとTの対戦であることを確認する。	初めてやるゲームなので、これを「まったく新しいものとして与えない」という配慮もある。
4	●				サイコロ箱からサイコロを一個取り、続けて二個目を取り出そうとする時、Pからは「一個です」と声で、Tからは腕を押さえられて制止され腰を下ろす。	T:「よしつ」とそれに答える。 P:「どっちが先にやるかをサイコロの出た数で決めます」と言う。 T:「サイコロで決めます。どうぞ」とサイコロ箱をEの方に動かす。	ハンカチはいつも手にしているわけではない。以前は、うさぎの小さな縫いぐるみをかわいがり、手から離さないでいることが多かった。これを持つことによって気持ちが落ち着くので、行動のレベルを下げないためのEなりの手段なのではないかと推察される。
5		○	●		立ち上がって、サイコロの数字を見て「先生これ?」とTの取ったサイコロを確認しようとする。Tから「そう、これ9」と答えが返り、Tの「じゃあ」の声で「四九36」と言うが、言い終らないうちにそのことを否定され腰を下ろす。	T:「1だつたりして」と言いながらサイコロを取り出し、「オーッ」と声を出す。	
6				○	Tの問い合わせにうなずいて、「今、練習?」と笑った顔で言う。	T:「まだ」と言う。 P:「先生の方が数が多いので、先に取るのは先生」と説明する。 T:「いいですか?」と分かったかの確認をする。	Eは、もう既にゲームが始まっていると思っている。順番を決めるためのサイコロ取りであることが十分に伝わっていなかった。その思いがあるため、起きた行動がすっきりしないでいる。
7		○	○		取り出された二個のサイコロの数字を立ち上がってみる。Tの「六九」の誘導に答えるように「六九54」と言って腰を下ろす。得点板にPが数字を書き込むのを見ている。	T:「今、順番を決めたの」と言って6と9のサイコロを取り出す。 P:「さあ、どうぞ」と答を促す。	ぼくにもできるという自信や早くやってみたいといふ気持ちに水をさしてしまった。導入時にそのことをしっかりと理解させておく必要があった。
8				○	座った状態からサイコロを取り出し、8が出る。	P:得点板にEが「54」と言ったことを受け、数字を書き入れる。 T:「さあ、次はEちゃん。いってみよう」とサイコロ取り出しを促す。	座った状態でサイコロの数字は見にくい。椅子を置かずにやってもよかった。
9			○		「先生出すの?」と聞く。	T:「あっ、8が出た」と言って、サイコロの数字が見やすいようにそれを置くようする。	
10	○				立ち上がり、取り出す穴をのぞきこみ、にやにやしながら二個目のサイコロを取り出す。Pの「いくつですか?」の問い合わせに「八九72」と答える。	T:「ううん、もっと」と促す。	この問い合わせは、「番号」4での順番決めの時、二個目を取り出すのを制止されたことによる。この段階まで順番決めでのつまづきが尾を引いている。
11	○		○		Pの指示に従ってコマを一步進める。すぐTに「先生進んでないの?」と聞く。	T:Eののぞきこみに気付いているが、黙って見ている。 P:「Eの勝ちです。」と宣言し、「一步進んで下さい」と指示する。	Tが進んでいないのを十分承認して聞いている。このことで自分の勝利を訴えている。
12				○	笑って座っていたが、立って「良かつたね、ぼくが勝って」とPに同意を求める。	T:「先生進んでないな」と答え、サイコロを取り出し始める。	人の嫌がるようなことを平気で言う。
13	○	○			1と1のサイコロを見てすかさず「一一が1」と言う。	P:「審判は公平です」と言う。 T:1と1が出て、残念がる素振りをする。	Pの「はじめに」は、もっと大きな数字を取って下さいの意味。Eは、このPの話に呼応するように「ふざけないで」と言っている。
14				○	Tたちの様子から、「先生、ふざけてやっているような感じがする」と言う。	T:「残念がる素振りに「先生はじめにやって下さいね」	
15				○	立ち上がり、穴をのぞいてから4のサイコロを取り出してまたのぞき込む。	T:「先生ふざけてないよ」と言う。	

①参照

②参照

③参照